

第9回「ツギハギだらけ」

市民福祉情報オフィス・ハスカップ・主宰

小竹雅子先生

25S2041 池町真夕子

小竹さん、はじめまして！医療者経験のない私は、この度の講義で介護保険制度について、学ぶ必要があり、受講当日を楽しみにしていました。

ところが、1日ですべてを網羅するなど100年早いことを知るに、時間は要しませんでした。講義が始まって10分15分でノックアウト！到底無理である、との諦めの境地。将来、制度を使う、1利用者として捉えるならば、どうして、こんなに「ツギハギ」の制度になったのか？との怒りがふつふつと湧いて来ました。

それは、おそらく、制度設計の段階で、ビジョンがないことに由来するからだ、と持論ですが、勝手に思っております。日本人の生き方としての最終ステージで何が求められて、何が理想であるのか？こちらの講義シリーズでいつも思うのは、制度を設計する側に当事者の意見が反映されていないということ。もしかしたら、茶番で、イエスマン・ウーマンみたいな当事者が参考人として呼ばれている可能性もあります。

その時々の方が大きい者の意見が通るとしたら、「ツギハギ」だらけになるわけです。しかも、往々にして役所の文書は分かりにくい。わざと分かりにくくしているのでしょうか。

あと、福祉系の介護サービスと、医療系のサービスがあることも恥ずかしながら知りませんでした。どうして、そこで分けるのか？福祉系と医療系の利権争い？なんて考えてしまいました。とにかく、介護が必要になるのは、急を要することが多いしょうから、利用者にとり、分かりやすい制度設計に組み替えて欲しいものです。制度を作成する方が優秀なのは、分かりませんが、そこを国民にひけらかす必要はないと思います(苦笑)。

いまはAIにも相談出来ますから、もっとシンプルに出来ないものですかね。

昨今は、介護保険外サービスや、医療も自費のところが増えてまいりました。アメリカのように、お金がある人間のみ、医療や介護を受けられるような社会にはなって欲しくありません。制度としては素晴らしいとは存じますが、故意に分かりにくくして、使い勝手が悪いといった、意地悪なテクニックで誤魔化するのではなく、逆転の発想で、よりシンプルに物事を捉えて、サービスを提供して欲しいものです。

改悪を知られると批判の対象になるので、それをまくために、わざわざ難しい言語で表現するという手法で誰が得をするのか？小竹さんのオンブズマン的な強い姿勢に共感を持ちました。

今日は沢山の気づきが得られました。
ありがとうございました。

頑張ってくださいね!!